

平成31年度 愛知県公立学校教員採用選考試験の採用予定人員等

愛知県教育委員会

I 日程

- (1) 受験案内の配布 平成30年4月26日(木)から、受験案内と願書等をダウンロードできます。
教職員課ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/site/kyoinsaiyou/>
- (2) 願書受付期間 平成30年5月1日(火)～平成30年5月16日(水) ※当日消印有効
- (3) 試験日 第1次試験 平成30年7月21日(土)
 第2次試験 1日目 平成30年8月22日(水) 2日目 平成30年8月23日(木)

II 受験区分

受験区分		採用予定人員	教科(科目)
小学校教諭		約700人	
中学校教諭		約300人	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術 家庭 英語
高等学校教諭		約270人	国語 地理歴史 公民 数学 理科 音楽 美術 保健体育 家庭 英語 商業 工業(機械) 工業(電気) 農業 水産(水産食品) 看護 情報 福祉
特別支援 学校教諭	小学部	約140人	
	中学・高等部		国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術 家庭 英語 工業(機械) 理療
養護教諭	小・中学校	約40人	
	県立学校	約10人	
栄養教諭	小・中学校	約15人	

- 注意 1 日本国籍を有しない者は、任用の期限を付さない常勤講師に任用します。
 2 受験区分及び教科(科目)について一つのみ出願できます。
 3 採用予定人員は現時点における一応の目安であり、変更することがあります。
 4 採用予定人員の変動により、受験した受験区分以外の校種(特別支援学校の部を含む。)の要員として合格又は補欠とすることがあります。
 5 小学校教諭及び中学校教諭の採用者については、一定期間を経過した後に小学校及び中学校の校種間で異動することがあります。
 6 栄養教諭については、特別支援学校へ配置されることがあります。

III 平成30年度教員採用選考試験(29年度実施)の実施状況(平成30年4月1日現在)

区分教科(科目)	受験者(A)	合格者(B)	補欠者	繰上者(C)	倍率(A/(B+C))	
小学校教諭	2407人	700人	80人	48人	3.2倍	
中学校教諭	国語	172	43	10	4	3.7
	社会	269	24	10	5	9.3
	数学	214	39	6	4	5.0
	理科	162	44	11	4	3.4
	音楽	146	18	2	0	8.1
	美術	72	15	3	2	4.2
	保健体育	426	43	3	3	9.3
	技術	23	11	0	0	2.1
	家庭	39	11	3	1	3.3
	英語	275	52	12	8	4.6
特別支援学校教諭	525	130	23	6	3.9	
小・中学校養護教諭	359	40	6	1	8.8	
県立学校養護教諭	93	10	2	1	8.5	
栄養教諭	113	20	1	1	5.4	

区分教科(科目)	受験者(A)	合格者(B)	補欠者	繰上者(C)	倍率(A/(B+C))	
高等学校教諭	国語	214人	63人	13人	11人	2.9倍
	地歴	263	27	8	3	8.8
	公民	52	4	1	0	13.0
	数学	277	44	8	3	5.9
	理科	234	17	6	3	11.7
	美術	18	1	0	0	18.0
	保健体育	397	25	5	1	15.3
	家庭	46	6	2	1	6.6
	英語	199	58	10	7	3.1
	商業	81	2	1	0	40.5
	機械	36	12	2	0	3.0
	電気	30	8	2	1	3.3
	セラミック	3	1	0	0	3.0
	農業	25	3	1	0	8.3
	水産	9	4	1	0	2.3
	情報	24	3	1	1	6.0
福祉	12	2	1	0	6.0	

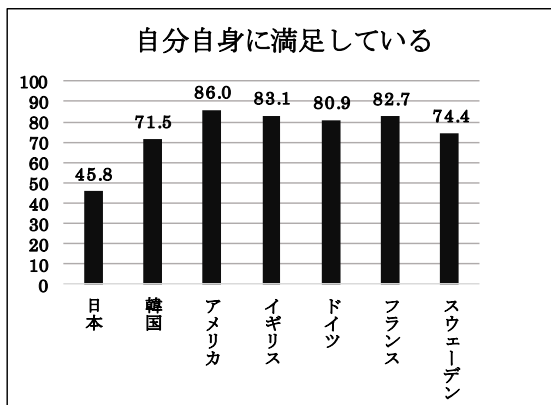
○ 台風などの非常時における試験実施については、下記の通りインターネットの愛知県教育委員会ホームページに掲載します。

- ① 問い合わせ可能時間 試験前日午後7時から
 ② ホームページアドレス
<http://www.pref.aichi.jp/site/kyoinsaiyou/>

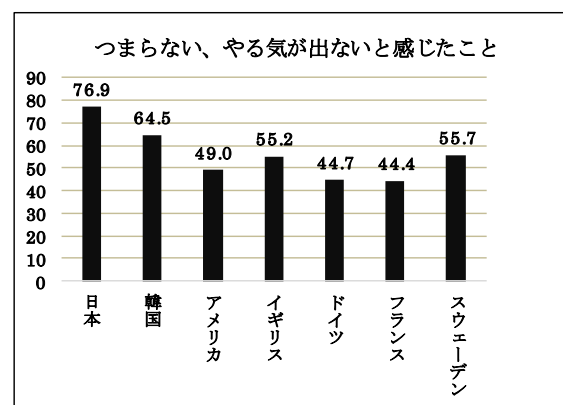
《参考》平成30年度愛知県公立学校教員採用選考試験の問題の一部を参考として
 情報提供いたします。

I 第2次試験の小論文の問題

次の図表は、日本を含めた7か国の満13～29歳の若者を対象とした意識調査結果からの抜粋である。この図表からあなたは何を読み取り、それを踏まえて教員としてどのような教育を心がけたいかを、900字以内で述べよ。〔グラフ中の数字は%〕



(注)「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。



(注)「あった」「どちらかといえばあった」と回答した者の合計。

出典 内閣府 「平成26年版 子ども・若者白書(概要版)」
 調査時期 平成25年11月～12月
 調査対象 満13～29歳までの男女

II 第2次試験の口述試験における集団討議のテーマ

- あなたが担任をしている学級で、集団に溶け込めない児童・生徒がいます。グループ活動をする際に、集団に溶け込めない児童・生徒に対して、あなたは担任(養護教諭・栄養教諭)として、どのような配慮をし、どのように対応しますか。
- 学習用具を度々忘れてしまう児童・生徒がいます。何度注意してもなかなか改善されず、忘れ物が後を絶ちません。このような児童・生徒に対して、あなたは担任(養護教諭・栄養教諭)として、どのような配慮をし、どのように対応しますか。
- 周囲の児童・生徒に「死ねばいい」などという命を軽んずる発言を繰り返している児童・生徒がいることが分かりました。命の大切さを児童・生徒に伝えるために、あなたは担任(養護教諭・栄養教諭)として、どのような配慮をし、どのように対応しますか。